

2015年9月

各位

「嚴慶谷さん（京劇俳優）上海後援会」のご案内

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、中国に駐在、居住する日本人の皆さんに、中国の伝統芸能である京劇をより身近に感じ、その魅力を分かりやすく紹介したいという思いより、上海で活躍する国家一級俳優の嚴慶谷さんを応援する後援会を発足致しました。

京劇に興味のある方、これから興味を持たれる方等、皆さんと一緒に京劇を学び、京劇の魅力を共有し、中日文化交流の一環として、伝統芸能を応援していきたいと思っております。

なお、本会は、嚴慶谷さん公認の後援会です。現在、広く会員を募集しております。

また、本会の主旨にご賛同頂き、本会の運営にご協賛、ご協力頂けます企業等ございましたら、ご連絡頂きたく。

何卒宜しくお願い致します。

嚴慶谷さん上海後援会

会長 土肥恒久

【嚴慶谷さんプロフィール】（*HP より抜粋）

嚴慶谷 Yan Qinggu

京劇俳優、国家一級俳優、上海戲劇家協会会員

1970年 上海生まれ



☆略歴

1981年 上海市戯曲学校に入学して京劇を学び始める。

1982年 「黄金台」で初舞台を踏む。

1983年 「問探」で労働劇場（現逸夫舞台）に出演。

1988年 同校「京劇班」卒業。

1990年 上海京劇院に入団。

1996年-1999年

「第一回中国優秀青年京劇俳優研究生班」の一員として、北京の中国戯曲学院で学ぶ。

2001年11月-2002年12月

日本の伝統芸能を研究するために神戸学院大学の外国研究員

として来日。特に狂言を学ぶため、京都の大蔵流茂山家へ通う。

-2002年3月 京都の北野天満宮の奉納行事での「盆山」で狂言役者デビュー。

-2002年9月 日中国交正常化30周年の記念行事として、上海で「狂言と京劇」の交流公演を行う。

2003年1月 スtockホルム演劇大学の招聘により、一ヶ月の京劇ワークショップを開催。

2003年6月～ 情報誌「上海ウォーカー」に『ぶんぶん京劇』を連載。

2004年～ 日本話劇人社発行の演劇専門誌「幕」で『申城劇人』を連載。

2004年1月 「巖慶谷展演月」の独演会を行う。

2006年5月 「楊門女将」日本公演に出演、舞台監督を兼任。

* 2006年以降のご活躍に関しましては、紙面の都合上割愛しておりますので、詳細は巖慶谷さんHPをご参照下さい。<http://www.yanqinggu.com/>

専攻：武丑(立ち回りを主とする道化役)で、有名な役としては孫悟空があります。閻世喜、艾世菊、孫正陽、鈕驃等の著名な道化役者及び声楽教育家盧文勤に師事。1998年には中国京劇界の武丑の重鎮、張春華師に弟子入り。

得意な演目：「三盗九龍杯」楊香武、「盗銀壺」邱小義、「蔣平撈印」蔣平、「時遷偷鷄」時遷、「時遷盗甲」時遷、「三岔口」劉利

華、「小放牛」牧童、「活捉張三郎」張文遠、「大鬧天宮」孫悟空、
「十八羅漢鬪悟空」孫悟空、「金刀陣」孫悟空など。

新編京劇では演出、舞台美術などにも関わり、「扈三娘与王英」王英、「宝蓮燈」沉香、「孫悟空大戰盤絲洞」孫悟空、「ハムレット」ポロニユースなどを演じています。アメリカ、オーストラリア、スウェーデン、日本、エジプト、スイス、フランス、デンマークなどで海外公演も行っており、高い評価を得ています。

特に、訪日公演はすでに 10 回を数え、多くの京劇ファンを持ち、又、日本ではサントリーウーロン茶のCM(1990 年、1993 年"新婚さんバージョン")に出演しています。

【会員募集】

名称：「嚴慶谷さん上海後援会」

主旨：

(1) 中国に駐在、居住している日本人に中国伝統芸能に親しむ機会をつくり、中国文化への理解を深める。

(2) 国家一級俳優「嚴慶谷さん」を応援する。

(3) 京劇の魅力をより多くの方に紹介する。

活動内容：

(1) 京劇鑑賞

(2) 京劇知識勉強会の開催（不定期）

(3) 京劇通信の発行（隔月）

(4) 巖慶谷さんを囲む交流会（年2回）

□連絡先：事務局 担当 亀田

E-mail: s.kameda@outlook.com

* 入会ご希望の方は、別紙に必要事項をご記入の上、事務局亀田宛にご連絡をお願い致します。

なお、下記個人情報はイベントなど活動情報の配信及び会員名簿作成等に活用させていただきます。

【今後の活動予定】

2015年11月12日（木）

京劇勉強会&巖慶谷さんを囲む交流会

☆巖慶谷さんの1月の出演演目の見所を日本語で分かり易く解説します。また京劇初心者の方にも丁寧に京劇の基礎知識をご紹介します。

2016年1月1日（金）

京劇鑑賞（巖慶谷さん出演）

☆2016年申年の始まりにふさわしい「孫悟空」の演目です。上海で迎える新しい一年は縁起の良い「干支」の演目でスタートです。また、2016年は12年に一度の「申赤」です。「赤」を身につけ京劇を鑑賞しましょう！

以上